

平成24年度第2回

宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録要旨

平成24年8月29日開催

## 平成24年度 第2回 宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録

【日 時】平成24年8月29日(金) 午後1時30分～3時45分(2時間15分)

【場 所】宝塚市クリーンセンター 3階 会議室

【出席委員】委員17名中15名。

委員の過半数以上の出席があり、宝塚市廃棄物減量等推進審議会条例  
第6条第2項の規定により会議は成立

出席委員は次のとおり

中丸会長、池田委員、尾仲委員、中野委員、滝川委員、稲野委員、藤井  
委員、今里委員、菊川委員、池田委員、金岡委員、橘委員、戸川委員、  
国山委員、頼岡委員

【事務局】クリーンセンター所長、業務課、管理課、  
(株)日本環境工学設計事務所

【傍聴者】なし

- 1 開会
- 2 プラスチック類の処理の在り方再評価について審議

中丸会長：それでは、これより議事に入ってまいりたいと思います。

事務局：(資料説明)

中野委員：評価基準は環境性、経済性、ごみ行政の3つだけか。

事務局：前回の審議会の評価基準に準拠した。

中丸会長：前回の専門家会議で議論を重ねた結果、評価基準を定めた。

中野委員：本市と委託業者が同じ大阪市のケースでは本市よりも経費が安いのでは。委  
託の範囲が異なるからなのか、業者が複数おり競争原理が働くからなのか。

事務局：大阪市は直営収集で重機オペレータ、積み込み作業等も行っており、本市の  
ようにRPF化までの経費を含めると、むしろ本市の方が経費は安いとい  
う印象を持っている。

戸川委員：重み付けにおいて経済性を重視すべきである。

池田委員：環境のために良かれと分別しても、収集、処理などの経費の相殺により大差  
がなくなったと理解できるか。

事務局：収集経費が最も高い割合を占めており、資源分別が経費増の要因となってい  
る。

中丸会長：分別収集の経費を考えると経費増となることは資料より明らか。選別処理の  
経費に着目すれば、経済性の重み付けに差がでてくる。

橘委員：経済面からはRPFをしない方が競争性が高まり、経費を安くできる。東大阪  
市は入札の際に最低制限価格を示している。経費削減の手法の1つと考える。

中丸会長：競争性の確保は継続して検討していかねばならないテーマである。それでは重み付けの検討に入る。前回の重み付けの設定方法に習い、審議委員の意見を伺いながら定めるがよいか。

(全員合意)

池田委員：ごみ行政への理解と協力については、他の項目よりも評価を落としてよいのでは。

中丸会長：市民への意識啓発、ごみの削減効果の観点から判断する必要がある。

中野委員：ごみ行政への理解と協力については、これなくしてごみの減量化、資源化が進まないのが重要と考える。

中丸会長：重み付けの設定に入る。評価は10単位で設定する。委員の挙手により一番多いものから重み付けを決定する。環境性、経済性、ごみ行政を包括的に議論するがよろしいか。

(全員合意)

中丸会長：環境性と経済性、ごみ行政に大きく区分する。これらは50：50に決定する(賛成8名/13名)。環境性の細目について3つに区分する。①省資源性、②環境負荷性、③環境汚染性。これらは、20：20：10に決定する。(第1回 賛成6名/13名)(第2回 賛成8名/13名)

戸川委員：経済性の重み付けについてはランニングコストとイニシャルコストを分けて考えるべき。

中丸会長：それについては、重み付けの加点の中で判断する。

経済性とごみ行政の動向については30：20に決定する(賛成7名/13名、1名保留)。

処理システムの案に対する加点については、重み付けの重要性から1～4の評価をする。

A：現行システム B：容リプラのみ収集 C：プラ全量焼却

D：全プラ収集+容リ外プラ焼却

各評価項目に対するシステム案の重み付けは以下の通り決定する。

1. 省資源性	A：4	B：2	C：1	D：3
2. 環境負荷性	A：4	B：2	C：1	D：3
3. 環境汚染性	A：2	B：2	C：4	D：3
4. 経済性	A：3	B：2	C：1	D：4
5. ごみ行政への理解と協力	A：4	B：2	C：1	D：3

重み付け及び加点より総合評価の結果は以下のとおりである。

A：350点 B：200点 C：130点 D：330点

これによりA：現行システムを採用することで決定する。


3 その他


中丸会長：次回については、10月下旬に実施したい。具体的な日程はまた連絡する。  
次回は、基本計画の内容についてである。  
本日の会議はこれで終了としたい。  
ご協力ありがとうございます。

(午後3時45分 閉会)

上記議事録について議事内容と相違ないことを承認し、ここに署名押印する。

平成24年8月29日

議事録署名人 尾仲博道 

議事録署名人 今里有宏 

議 長 中丸寛信 